

メルケルドイツ首相から習近平 中国国家主席への贈り物

川島 順 予科21-7
(越谷市) 航空7-1

今年の3月28日中国の習近平国家主席は訪問先のドイツ・ベルリンで講演し、南京事件について、日本が「30万人以上を殺害した」と主張し、これに対し、菅官房長官は「極めて遺憾だ」と述べ、29日、外務省から駐日中国大使館に対して、抗議を行ったことは既に日本の新聞やテレビで報道されている。

丁度その頃、習主席はドイツのメルケル首相と会見している。その時の出来事であるが、これについてはインターネットで見つけたもので日本のマスコミは殆ど報道していないので次に紹介する。

2014年4月4日の国際放送RFI(ラジオ・フランス・アンテルナショナル: Radio France Internationale)はその中国版に「メルケル独首相、習近平中国国家主席に贈った中国の古地図が議論を招く」という報道を流して物議を醸した。

習主席は今年の3月にドイツを訪問し、ドイツとの友好関係をアピールしたが、事前に打診したホロコースト記念碑訪問を断られたうえ、メルケル首相から贈られた中国の古地図には新疆、チベット、内モンゴル、台湾等が領域外とされていた。この古地図は宣教師がもたらした情報を基にしてフランス人が書いたもので、1735年時点での清朝の領域を示している。

メルケル首相は表向きは中国との関係強

化をうたいながら、領土問題や人権問題できついお灸をすえたとの見方が広がっている。

次に原文を掲載しますので中国語の出来る方解読してください。

【德國總理默克爾夫人狠搥支那一巴！證明了支那「自古以來」並沒有新疆、西藏、內蒙、台灣等地！】

習近平訪問德國，德國總理默克爾夫人送了一份特別的禮物：「1735年德意志地區製作的第一幅精確的支那地圖」（默克爾原話）。這幅地圖主要包含大清承襲明代的漢地，證明了支那「自古以來」並沒有新疆、西藏、內蒙、台灣等地。究竟有甚麼含義呢？

流石にこの地図は問題ありと中国側が判断したのだろうか、一部中国メディアは贈呈されたものとは違う古地図を掲載した。すぐ替えられた地図を見たネットユーザーが「メルケル首相は中国の新疆、チベット、尖閣領有を支持している」と喜んだとも伝えられている。



メルケル首相が習主席に贈った地図

なおこの地図の鮮明度は悪いので古支那領域の輪郭を黒の太線で書き直しました。なお、PDF版として配信している秩父1

25号の地図はカラーで掲載されているので、明確にその領域が示されています。